

小学4年生 理科
空気と水の性質
空気の圧縮(2)

ひにち

がつ

にち

なまえ

① 右のような空気でっぼうに玉をつめ、つくえの上に

おいたゴムの板におしつけて、おしぼうをおしました。

このときのようにすでに正しいものには○を、

まちがっているものには×を書きましょう。

(×) ・ おしこんだとき、手ごたえはなかった。

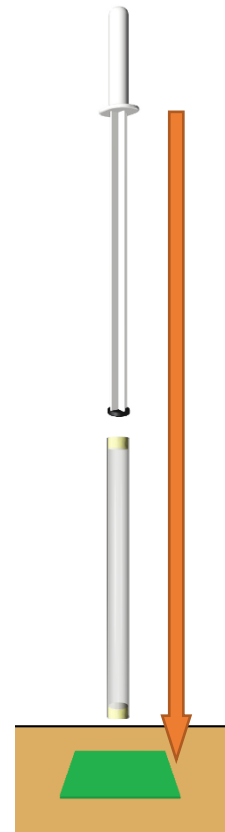
(○) ・ 空気でっぼうの中の空気の体積は小さくなった。

(×) ・ 上の玉と下の玉は空気でっぼうの中でくっついた。

(×) ・ おしぼうから手をはなすと、おしぼうはそのま
まの場所で止まった。

(○) ・ 強くおしこんだときと弱くおしこんだときでは、
強くおしこんだときのほうが手ごたえがあった。

(○) ・ おしぼうをおすときは、手でまっすぐつつを
ささえ、真上からおす。



② 空気でっぼうについて、() の中の正しい言葉を○でかこみましょう。

空気でっぼうで玉を遠くまでとばすには、

いきおいを(つけて・つけなくて)おしぼうを

おす。また、つつの長さを(短く・長く)

した方が、よくとぶ。

空気かわりに水を入れると、玉は(とぶ・

とばない)。

